



**島しょ性：島で独自の進化をとげた動物たち**

小さな陸地である島に閉じ込められた生物たちは、そこでどのように適応し、生き残ってきたのでしょうか。ヤンバルクイナ、ノグチゲラ、イリオモテヤマネコなどに見られる生き残るための工夫は、まさに島が進化の実験場であることを私たちに語りかけてくれます。



**自然環境の問題**

生活の向上をめざし、私たちはさまざまな開発を行ってきました。しかし、小さな沖縄の島々は秩序のない開発などに対してたいへん脆弱なのです。また、外国産のカブトムシや熱帯魚などの外来生物の問題は、県民一人ひとりがその原因をつくってしまう可能性があります。

沖縄の島々が、いつまでもユニークな生き物たちのすむ「美ら島」であり続けるかどうかは、私たち県民の手にゆだねられています。

**自然**

**第12回**

なぜ琉球列島にはユニークな生き物が多いのでしょうか。自然史展示室では、島々の複雑な成り立ちや一つひとつが「小さな」島になったこと、そして、亜熱帯では世界的にもまれな雨の多い湿潤な気候が創り出した生き物たちの姿を紹介します。

**美ら島**  
**まるごとミュージアム**



**代表的な自然のジオラマ\***

沖縄島北部(昼・夜)、宮古島、西表島の夏の様子を再現しました。生き物たちがどこに隠れているのか、家族や友達同士で探してみたいかたがでしょうか。それぞれのジオラマのそばにあるタッチパネルでは、900種以上の動植物の情報を調べることができます。また、鳥やカエルなどの生き生きした姿の映像も見ることができます。

\*ジオラマは、生物が暮らす環境を立体的に表現する展示方法です。



県立博物館・美術館



<http://www.museums.pref.okinawa.jp/>